

質疑



平成29年度 予算審議

平成29年度の一般会計及び各特別会計、企業会計については、3月定例会議と予算特別委員会において審議を行いました。審議は町政の全般にわたり、数多くの質疑がありました。その中のいくつかをご紹介します。

庁舎整備事業費

庁舎建設による町の未来は

問 今後の町のことを考えると、できるだけ費用を抑えてほしい。これから町の将来を考える中で、今、計画している庁舎でなければいけないという理由はどこにあるのか。

答 役場庁舎の建設には、特別委員会の中で説明させていただいた。昨年、まちづくり町民集会でも全地域を回らせていただいた。役場庁舎の必要性も含めて、将来に負担を残さないというコミュニケーションを説明させていただき、大方の賛成をいただいたと思っています。

庁舎整備を進めるにあたって、6年前から議会より提案を受けて庁内計画、総合計画、防災計画の中でも位置づけをし、手順を踏んできた認識をしている。できるだけ早く計画どおり役場庁舎をつくることによって、北部、中部、南部の結節点としての庁舎整備を進めていく。



現在の役場庁舎

ブランディング戦略推進事業費

今年度のブランディング戦略は

問 平成27年に町制施行60周年ということで、その前後を中心に3年間を一つの目安として、ブランディングが大きく打ち出された経緯があるが、平成29年度の取り組みは。

答 これまでブランディングに取り組んできた経験を踏まえて、今後は町の魅力の発信をさらに磨きをかけ定住促進を進めていく。



あじさいちゃんグッズ

産業集積促進事業費

足柄産業集積ビレッジ構想の今後は

問 現在、南足柄市は小田原市との合併に向けて協議中である。このような状況の中、この事業に關しては、町民はかなりの不安を抱えているような現状があるが。

答 南足柄市との調整に關しては、南足柄市側と開成町のあり方について重ねて確認をしている。南足柄市としては小田原市との協議の内容、結果にかかわらず、これは南足柄市の重点事業として、継続的に取り上げていく方向性を持っているので、町としても、積極的に南足柄市とともに進めていきたい。

保育所充実事業費

町の待機児童は解消されるのか

問 昨年の10月に待機児童が12名という報告を受けた。新しい民間保育園の開設により解消されるのではないのかと思うが、平成29年度については、どのような計画があるのか。

答 平成27年度から待機児童が継続して発生している状況であった。この状況を改善することと、さらに定住促進という観点から、新しい民間保育園の開設について支援をさせていただいた。結果として、

待機児童はゼロの見込みとなっている。また、年度途中にも、年間20人から30人位のお子様が入園する見込みである。そのような状況となつても、定員の1.2倍という許容の中で全て受け入れるという姿勢を持って進めていく。



コミュニティ活動強化事業費

自治会への支援は

問 事業費として250万円計上されており、町内の4自治会に備品の整備をするとのことだが、内容はどのようなものか。

答 全13自治会のうち、順番に自治会へ配分している。自治会で希望を挙げてもらい、コピー機や阿波踊りの浴衣などを整備している。

あしがり郷瀬戸屋敷維持管理事業費

北部地域活性化の施策展開は

問 あしがり郷瀬戸屋敷の指定管理料として多くの費用が投入されているが、北部地域や瀬戸屋敷の活性化につながる見通しがあるのか。

答 瀬戸屋敷は開館当初、7万人近くの来館者がいた。委託する3年間で活性化



の部分を取り戻していきたい。指定管理を委託する会社はイベント等の工夫の部分の評価している。現状のイベントプログラムで、ルファアで、様々な可能性を追求していく。

地域防犯力向上事業費

防犯灯による光害対策は

問 あじさい農道にLED防犯灯を設置するということが、植物などの光害の影響が出るような話も聞いている。町の考えや農家との調整をされたのか。

答 防犯灯等のライトによる光害、稲の生育が良くなったとか、伸び過ぎてしまつて困る



という事例が何件かある。その対応として、田畑側にカバーをかけ、それにより光の漏れをなくすような形を進めていき、実際に土地の所有者の方とご相談させていく。

消防団等活動推進事業費

消防団協議会設置の目的は

問 新規事業として消防団協議会を設立する目的は。

答 消防団協議会は、地域における消防防災体制の充実強化のため、消防団、自治会、町事業所、そして、消防友の会など、関係機関が町と連携し、地域防災



力強化の中心である消防団の充実強化を実現するために設立する。目的は消防団員が3月現在で10名欠員なので、まずは欠員を補充していく。